

保険・年金 フォーカス

2015 ベトナム生保市場動向

今後の「伸びしろ」が大きい生保市場

保険研究部 上席研究員 小林 雅史

(03)3512-1776 masashik@nli-research.co.jp

1—はじめに

ベトナムにおいては、今後、生保市場の発展が大いに期待できる。

ASEAN(東南アジア諸国連合)中、生保市場の規模としてはいまだ非常に小さく(生保収入保険料はタイの1割弱程度の約1800億円)、生命保険浸透率(GDPに対する生保収入保険料の割合)も低い(0.8%)。

しかしながら、2015年の生保収入保険料の伸び率は、アジア主要国の中でも屈指の水準となっており¹、今後2040年まで人口ボーナス期(15~64歳の生産年齢人口が、子どもと高齢者の人口の2倍以上である状態)が続くことも踏まえれば、将来の「伸びしろ」が大きい生保市場であるものと考えられる。

ベトナムの国情(人口、国土の面積、GDP、国民性など)と保険監督体制[保険業法(Luật kinh doanh bảo hiểm、2000年12月9日制定)にもとづき、財務省(Bộ Tài chính)の保険監督庁(Cục Quản lý giám sát bảo hiểm)が監督]、保険会社や販売動向などについては、小著「[ベトナムの保険監督と販売動向](#)」²で紹介したが、本レポートでは、2015年のベトナム生保市場のトピックスを中心に紹介することとしたい。

2—保険会社

(表1)のとおり、2015年には生保会社17社、損保会社30社の計47社が営業している。

2014年に生保ではBIDVメットライフが、損保ではソウル保証保険が新たに開業した。

¹ 平賀富一「アジア生命保険市場の動向・展望と重要点」、『保険・年金フォーカス』、ニッセイ基礎研究所、2016年7月19日。http://www.nli-research.co.jp/files/topics/53426_ext_18_0.pdf?site=nli。

² 小著「ベトナムの保険監督と販売動向」、『保険・年金フォーカス』、ニッセイ基礎研究所、2015年6月30日。http://www.nli-research.co.jp/files/topics/42540_ext_18_0.pdf?site=nli。

BIDV メットライフは、ベトナム投資開発銀行（BIDV）とメットライフの合弁会社である。ベトナム投資開発銀行は、ベトナムの4大国有商業銀行の1つ〔他はベトナム農業農村開発銀行（Agri Bank）、ベトナム商工銀行（Vietin Bank）、ベトナム外商銀行（Vietcom bank）〕で、BIDV メットライフの株式の40%を保有し、医療保険などのBIDV メットライフの保険商品の銀行窓版を行っている³。

（表1）ベトナムの保険会社数の推移

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
生保会社	12社	14社	14社	16社	17社	17社
損保会社	29社	29社	29社	29社	30社	30社
合計	41社	43社	43社	45社	47社	47社

（出典）「ベトナム保険市場アニュアルレポート 2014」（Niên giám thị trường bảo hiểm Việt Nam năm 2014、2015年9月3日、ベトナム保険監督庁ホームページ）などにより筆者作成。

3—生保収入保険料とマーケット・シェア

2015年の収入保険料は生命保険36兆6500億ドン（約1800億円）、損害保険32兆380億ドン（約1600億円）に達している⁴。

2014年の収入保険料と比較すると、生命保険で33.9%の増加、損害保険で17.3%の増加と、名目GDPの成長率（約6.4%）と比べても大きく成長している。

（表2）ベトナムの収入保険料の推移

（10億ドン）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
生命保険	13,772	15,998	18,397	23,330	27,378	36,650
損害保険	17,070	20,554	22,851	24,521	27,307	32,038
合計	30,842	36,552	41,248	47,851	54,635	68,688

（出典）（表1）と同じ。

2014年から2015年のマーケット・シェア上位5社（新規収入保険料ベース）の動向を見ると、第3位までの順位は変わらないものの、第1位のプルデンシャル（1999年設立、32.9%⇒20.8%）、第2位のバオ・ベト生命（2004年設立、ベトナム政府が約7割の株を保有するバオ・ベト・ホールディングスの100%子会社、26.9%⇒19.6%）が大きくシェアを減らす一方、第3位マニュライフ（1999

³ 「BIDV メットライフ、ベトナムでの営業を開始」（BIDV MetLife Officially Launches in Vietnam）、2014年11月3日、BIDV メットライフホームページ。

⁴ 「2015年ベトナム保険市場の概要」（Tổng quan thị trường bảo hiểm năm 2015）、ベトナム保険監督庁ホームページ。

年設立、11.5%⇒13.4%)以下の会社がシェアを伸ばしている。

第4位の第一生命ベトナムはシェアを伸ばしたものの(2007年設立、9.5%⇒10.0%)、第5位のA I A(2000年設立、8.5%⇒11.5%)に競り負けた。

2015年第6位はPVI サンライフ[2013年設立、損保マーケット・シェア1位(20.8%)のペトロベトナム保険(PVI)とサンライフとの合弁会社、5.8%]であり、前述のBIDV メットライフは創業後間もないにもかかわらず、1.4%のシェアを確保している。

(表3) マーケット・シェア上位5社(新規収入保険料、2014年⇒2015年)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2014年	プルデンシャル (32.9%)	バオ・ベト生命 (26.9%)	マニュライフ (11.5%)	第一生命ベトナム (9.5%)	A I A (8.5%)
2015年	プルデンシャル (20.8%)	バオ・ベト生命 (19.6%)	マニュライフ (13.4%)	A I A (11.5%)	第一生命ベトナム (10.0%)

4—販売動向

2015年の新契約件数は約130万件で、前年と比べ24.2%増加している。

うち、保障と貯蓄を兼ね備えた養老保険(bảo hiểm hỗn hợp)が41.8%(前年は40.9%)、ユニット・リンク保険やユニバーサル保険など投資リンク性商品(bảo hiểm liên kết đầu tư)が34.4%(前年は32.7%)と、貯蓄・投資性商品の販売が大半を占める。

現在、17生保会社のうち15社がユニバーサル生命保険を販売している。

これに対し、定期保険(bảo hiểm tử kỳ)は22.6%(前年は24.9%)、終身保険(bảo hiểm trọn đời)は0.2%に過ぎない⁵。

また、2013年から個人年金保険の販売も開始されているが、販売実績は僅少である。

保有契約も約573万件に達し、前年と比べ16.1%増加している。

うち、養老保険が62.8%、投資リンク性商品が26.6%と、新契約と同様、貯蓄・投資性商品の販売が大半を占める。

販売チャネルとしては、営業職員や代理店のほか、銀行窓販や郵便局での保険販売なども行われている⁶。

⁵ 「2015年ベトナム保険市場の概要」前掲。

⁶ 「2015年ベトナム保険市場の概要」前掲、グイェン・ヴァン・タイン「ベトナムの生保市場への外資系生保の進出に関する考察」『生命保険論集』第161号、2007年12月、坂本栄治「ベトナムの生命保険市場について」『生命保険経営』第81巻第5号、2013年9月。

5—おわりに

ベトナムには日本の生保会社も多く進出している。

2007年1月には第一生命がベトナムの生保会社バオミン CMG 社を買収し、買収後第一生命ベトナムと社名変更、現在では前述のとおりマーケット・シェアの約1割を占めている。

さらに2016年1月、第一生命ベトナムはベトナム郵便会社と生保商品に関する15年間の独占販売契約を締結した⁷。

また、2012年12月には、住友生命がバオ・ベト生命やバオ・ベト保険 [ベトナムの損保マーケット・シェア2位 (18.5%)] などの親会社であるバオ・ベト・ホールディングスと業務提携し、同社の発行済株式の18%を約7.1兆ベトナムドン (当時約280億円) で取得した⁸。

2016年4月には、かんぽ生命、第一生命とベトナム郵便会社が3社の生命保険サービスに関する協力関係に関する覚書を締結した⁹。

なお、損保会社についても、東京海上グループが1996年8月、バオ・ベト・ホールディングスとの合弁会社としてベトナム・インターナショナル・アシュアランス社 (2010年9月にバオベト・トキオ・マリン社に社名変更) を設立し、2016年5月には出資比率を49%から51%に引き上げた¹⁰

こうした日本や諸外国からの進出動向も含め、伸び行くベトナムの生保事情について、引き続き注視していきたい。

⁷ 「ベトナム社会主義共和国における生命保険会社買収について」(2007年1月15日)、「ベトナム郵便会社と第一生命ベトナムとの業務提携について」(2016年1月18日)、第一生命ホームページ。

⁸ 「バオベト ホールディングスとの戦略的業務提携について」(2012年12月20日)、住友生命ホームページ。

⁹ 「かんぽ生命、第一生命及びベトナム郵便会社の三社の協力関係に関する覚書の締結」(2016年4月19日)、かんぽ生命・第一生命ホームページ。

¹⁰ 「ベトナム現地法人の出資比率引上げについて」(2016年5月11日)、東京海上ホールディングスホームページ。